

京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会（第1回）

配付資料一覧

令和2年11月17日（火）

議事次第

出席者名簿

配席図

資料－1 京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会 設立趣意書

資料－2 京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会 規約

資料－3 京成本線荒川橋梁架替事業 進捗状況

資料－4 京成本線荒川橋梁堤防部の水防対策に関する要望書

資料－5 京成本線荒川橋梁の堤防切り欠き部の対策

資料－6 京成本線荒川橋梁架替事業の広報

参考資料－1 京成本線荒川橋梁架替事業パンフレット

参考資料－2 京成本線荒川橋梁架替事業 新橋設置時のイメージ

京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会（第1回）

議 事 次 第

日時 : 令和2年11月17日（火）15:30～

場所 : 荒川下流河川事務所 アモアホール

1. 挨拶

国土交通省 関東地方整備局 河川部長

葛飾区長

2. 出席者紹介

3. 議事

- ① 京成本線荒川橋梁架替事業の進捗状況について
- ② 京成本線荒川橋梁の堤防切り欠き部の対策について
- ③ 事業の広報活動について

京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会(第1回) 出席者名簿

【協議会構成員】

国土交通省 関東地方整備局	河川部長	西澤 賢太郎
荒川下流河川事務所	事務所長	早川 潤
京成電鉄株式会社	鉄道本部 建設部長	飯野 隆太郎
東京都建設局	河川部長	小林 一浩
墨田区長		山本 亨
	(代理)都市整備部長	田中 正明
江東区長		山崎 孝明
	(代理)土木部長	杉田 幸子
足立区長		近藤 やよい
葛飾区長		青木 克徳
江戸川区長		斉藤 猛
	(代理)土木部長	立原 直正

【オブザーバー】

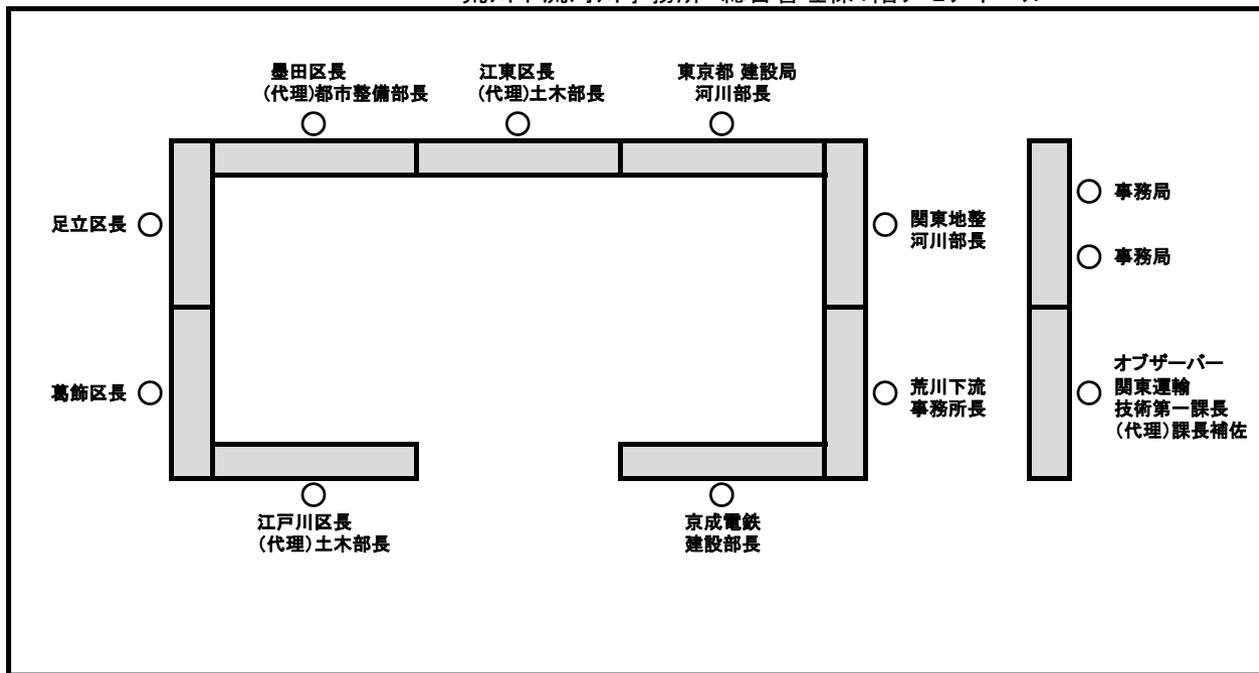
国土交通省 関東運輸局	鉄道部 技術第一課長	森 一臣
	(代理)鉄道部 技術第一課 課長補佐	岸本 和浩

※敬称略

京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会(第1回) 配席図

令和2年11月17日(火)15:30～

荒川下流河川事務所 総合管理棟1階アモアホール



京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会
設立趣意書

京成本線荒川橋梁(以下「本橋梁」という。)の架替事業については、平成16年度に国の特定構造物改築事業として採択され、平成28年3月に策定された荒川水系河川整備計画でも、洪水の安全な流下の阻害となっている本橋梁の架替えが位置づけられている。

本橋梁の架替工事を行うにあたっては、沿線の密集市街地での施工となり地域に与える影響が大きいことから、これまでに構造形式の検討、概略設計、施工計画、環境への影響検討等について慎重に検討を実施してきており、現在、詳細設計、用地の取得を進めているところである。

この度、早期に沿川地域の安全、安心の確保を図るため、関東地方整備局及び京成電鉄株式会社が事業主体として実施している本橋梁の架替事業に係る諸課題について、東京都、荒川沿川の墨田区、江東区、足立区、葛飾区及び江戸川区と共有し、課題の解決に向けて連携・協力等することにより、早期の架替工事の着手、円滑な事業の推進等を目的として協議会を設置する。

京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会 規約

(名称)

第1条 この協議会は、「京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会」(以下「協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 協議会は、関東地方整備局及び京成電鉄株式会社が事業主体として実施する、京成本線荒川橋梁架替事業(以下「本事業」という。)に係る諸課題について、東京都、荒川沿川の墨田区、江東区、足立区、葛飾区及び江戸川区と共有し、課題の解決に向けて連携・協力等することにより、早期の架替工事の着手、円滑な事業の推進等を目的とする。

(協議会の構成)

第3条 協議会は、別表1に掲げる協議会構成員(以下「構成員」という。)をもって構成する。

- 2 協議会の庶務を行うため、関東地方整備局荒川下流河川事務所に事務局を置き、協議会の招集、運営等を行う。
- 3 事務局は、必要に応じて構成員以外の者の参加を協議会に求めることができる。

(協議会の実施事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

- 1) 本事業の進捗状況の報告。
- 2) 本事業の理解と協力を求めるための説明・広報活動等の調整。
- 3) 本事業の課題の解決に向けた連携・協力等の調整。

(幹事会)

第5条 協議会に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、別表2に掲げる幹事会構成員をもって構成し、協議会の運営に必要な事項を審議する。

(議事概要)

第6条 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、構成員の確認を得た後、公開するものとする。

(協議会の公開)

第7条 協議会については、原則として報道機関を通じて公開とする。ただし、議事内容によっては、協議会に諮り、非公開とすることができる。

(協議会資料等の公表)

第8条 協議会に提出された資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会に諮り公表しないものとする。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、協議会で定めるものとする。

(附則)

第10条 この規約は、令和2年11月17日から施行する。

別表1(協議会)

【協議会構成員】

国土交通省関東地方整備局 河川部長
国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所長
京成電鉄株式会社 鉄道本部 建設部長
東京都建設局 河川部長
墨田区長
江東区長
足立区長
葛飾区長
江戸川区長

別表2(幹事会)

【幹事会構成員】

国土交通省関東地方整備局 河川部 河川調査官
国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所長
京成電鉄株式会社 鉄道本部 建設部 建設課長
東京都建設局 河川部 計画課長
墨田区 都市整備部長
江東区 土木部長
足立区 都市建設部長
葛飾区 都市整備部長
江戸川区 土木部長

京成本線荒川橋梁架替事業 進捗状況

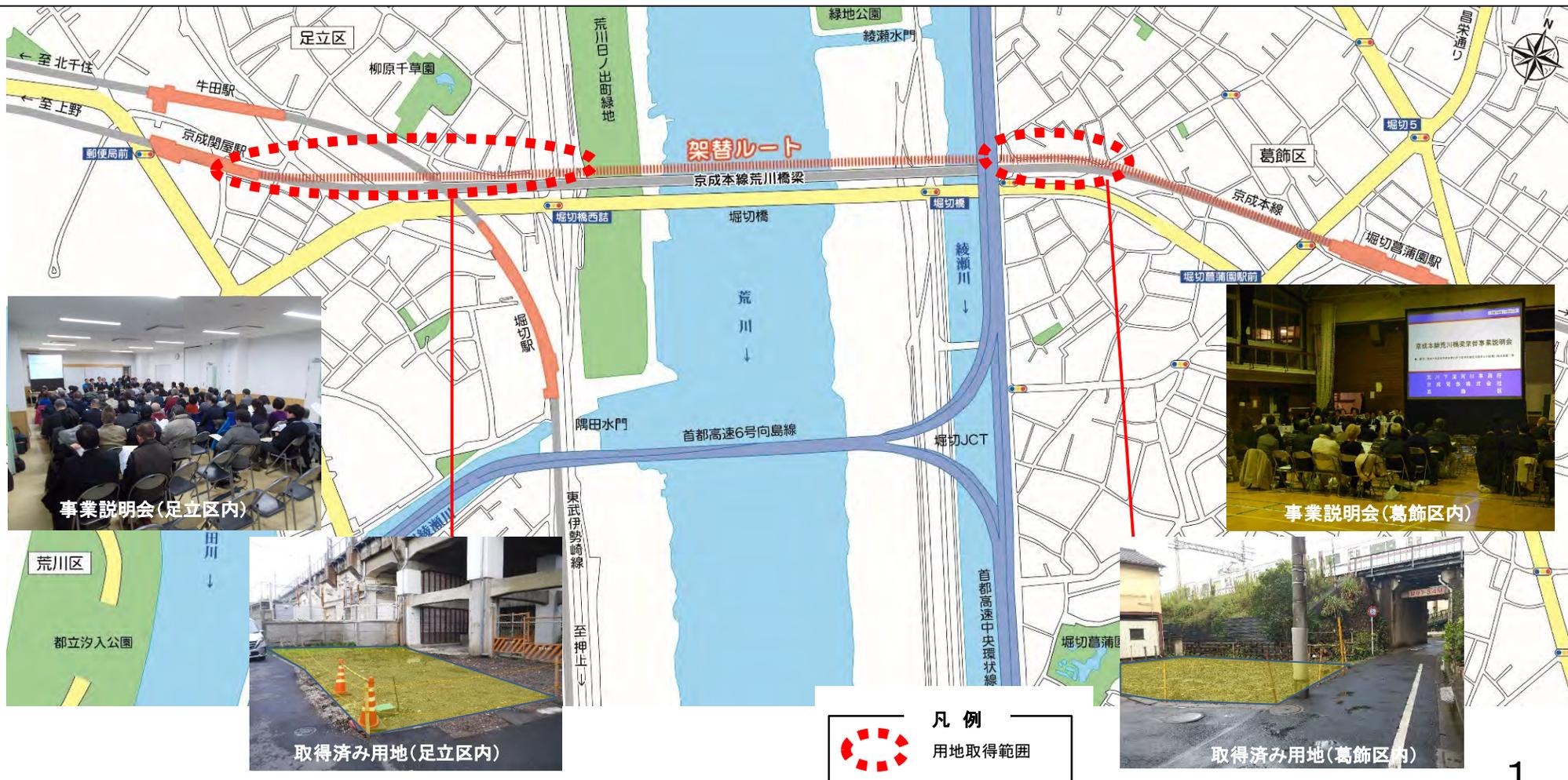
資料-3

■ 用地取得(事業用地及び施工ヤード)については、平成28年度に現地測量、平成29年度に用地調査を開始し、令和元年度より用地買収の契約を行っており、関係する皆様のご理解、ご協力により契約が進んでいます。

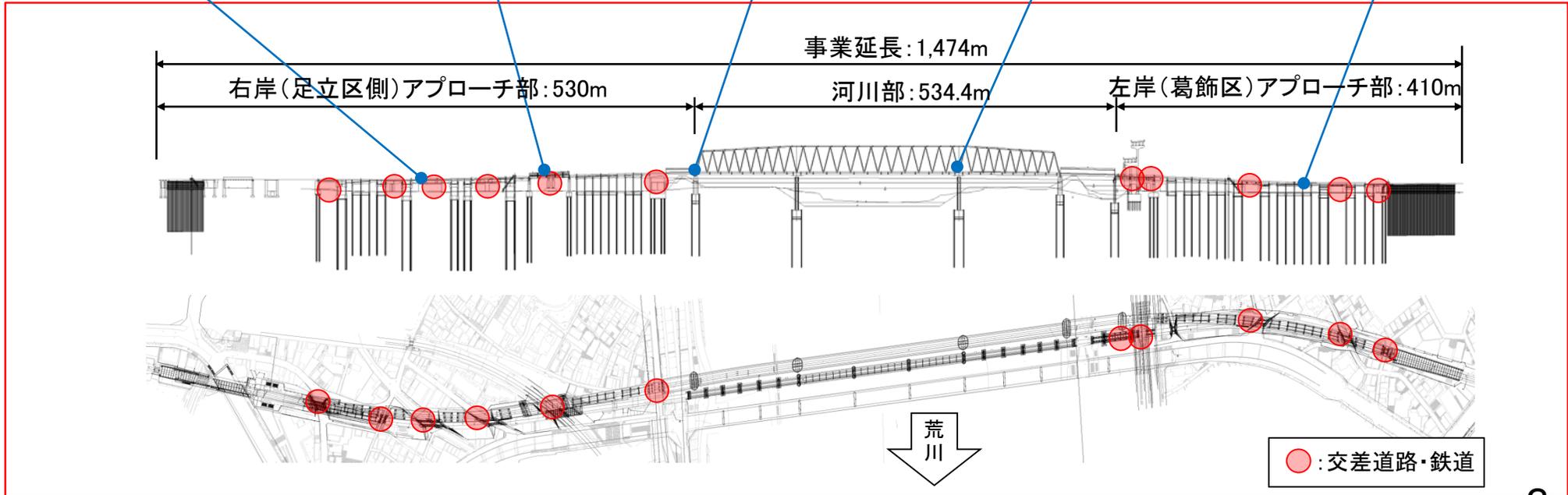
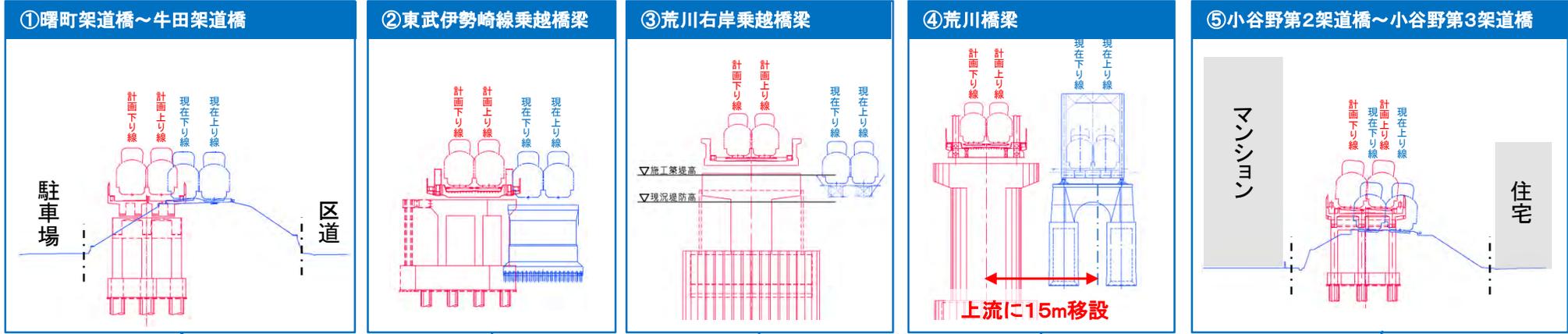
【契約進捗率】 令和2年 4月 1日時点 約 3%

令和2年11月 1日現在 約10%

■ 令和4年度には橋梁架替工事に着手する予定です。



京成本線荒川橋梁架替事業 概要図



京成本線荒川橋梁堤防部の水防対策に関する要望書

貴台におかれましては、日頃より荒川水系の総合的な治水・利水対策にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

荒川は、政治・経済の中核機能が集中する首都圏を貫流する重要な河川であり、ひとたび氾濫すれば、我が国の社会経済活動に対しても計り知れない影響を与えます。

昨年の台風第19号において荒川の流域平均雨量は、カスリーン台風を上回る戦後1位を記録し、足立区及び葛飾区を含む江東五区においても多くの区民が避難しました。

これまで両区では、水防訓練等の機会をとおして、荒川橋梁周辺部の堤防の切り欠き部に暫定的な取り組みとして、土のうを設置するなど水防対策に取り組んでまいりました。しかし、現在、事業着手されている京成本線荒川橋梁架替事業が完了するまで長期間となることも想定されるので、土のうによる止水だけでは不安だとする地域住民の声もあり、さらなる取り組みが望まれています。

また、京成電鉄の軌道内の水防工法の実施にあたり、今回策定した京成本線荒川橋梁部における水防活動手順書では、京成電鉄運行停止後、2時間以内に対策を完了することを想定しており時間短縮に向けた取り組みが必要不可欠となっています。

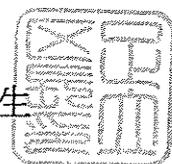
両区といたしましては、係る事情をご賢察いただき、京成本線荒川橋梁付近の堤防の切り欠き部における対策及び、京成電鉄軌道内の水防活動の時間を短縮できる対策として、パラペット等の構造物を設置していただくとともに、さらなる区との連携や地域の水防活動の取り組みへの支援にも引き続きご協力いただきますよう強く要望いたします。

令和2年9月30日

国土交通省関東地方整備局

荒川下流河川事務所長 早川 潤 様

足立区長 近 藤 弥 生



葛飾区長 青 木 克 徳



京成本線荒川橋梁の堤防切り欠き部の対策

令和元年東日本台風を踏まえ、令和2年度は、葛飾区・足立区により土のうを設置。
(軌道部分は水防活動により対応)



荒川左岸(葛飾区側)土のう設置状況



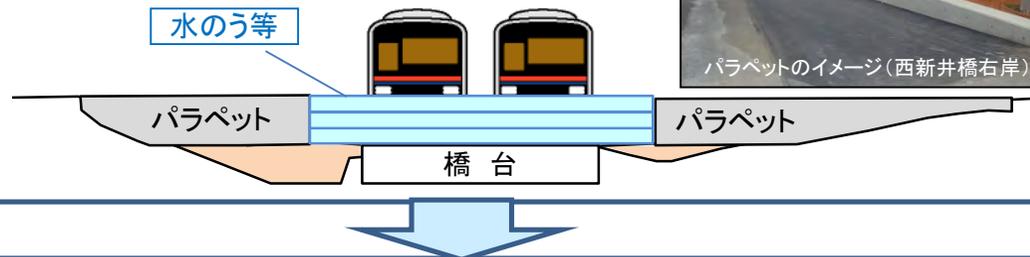
水防活動の手順をとりまとめ確認書を4者で締結(R2年9月30日)
出水時には足立区、葛飾区、京成電鉄で現地で待機し、綾瀬水門A.P+4.8m※の水位で、運行を停止し、水防活動開始
※ 京成本線荒川橋梁の橋台天端から1m下の換算水位

軌道内夜間現地調査(R2年10月)

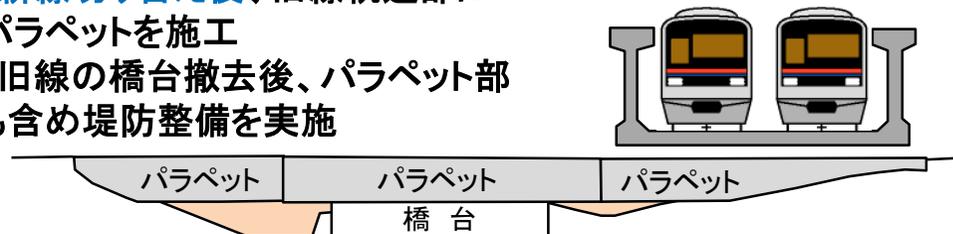
終電通過後、京成電鉄により線路閉鎖を行い、京成電鉄立会のもと足立区、葛飾区及び荒川下流河川事務所により軌道内の夜間現地調査を実施。



令和3年度は、堤防切り欠き部の土のう設置箇所にパラペットを施工
(軌道部分は引き続き水防活動により対応)

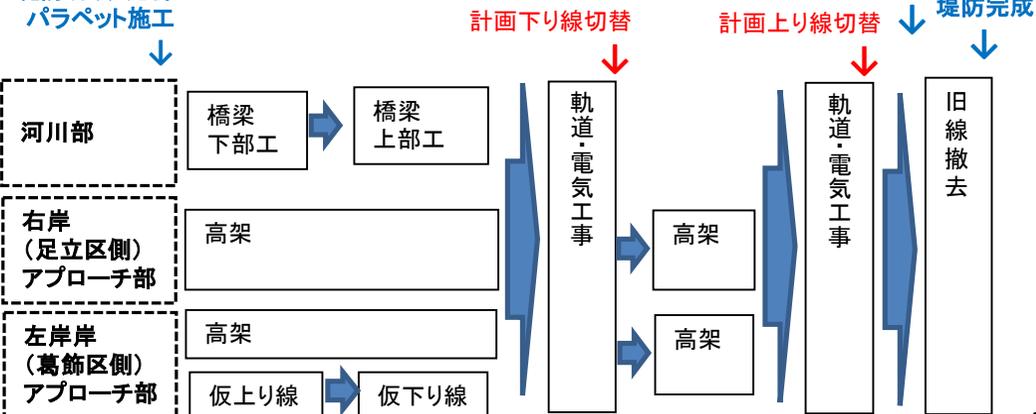


・新線切り替え後、旧線軌道部にパラペットを施工
・旧線の橋台撤去後、パラペット部も含め堤防整備を実施



京成本線荒川橋梁架替工程

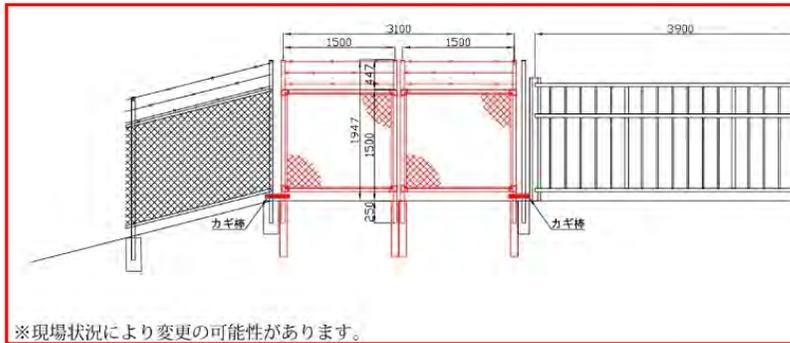
堤防切り欠き部
パラペット施工



水防活動の状況

【足立区】

- 足立区は、水防活動の円滑化を図ることを目的として、荒川橋梁右岸側フェンスの改修工事を足立区の負担により実施すべく京成電鉄（株）と協定書を締結し、河川法の許可を得て実施しています。



フェンスの改修



軌道内夜間現地調査
(R2年10月) 足立区



荒川右岸（足立区側）土のう設置状況（R2年7月）

水防活動の状況

【葛飾区】

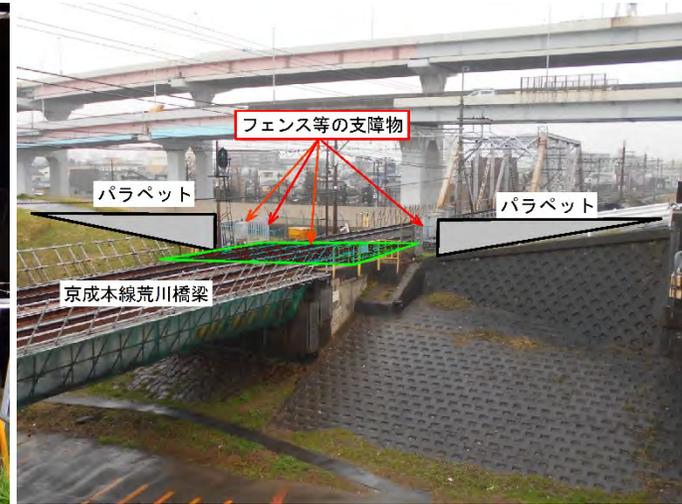
- 葛飾区は、7月の合同水防訓練（120名参加）で荒川左岸に大型土のうを35個設置するとともに、8月の水防本部訓練（112名参加）において、大型土のう設置訓練を実施しました。
- 葛飾区としても水防活動の円滑化を図るための対策となるフェンス等の支障物の取り扱いについて関係機関と調整していきます。



荒川左岸（葛飾区側）
土のう設置状況（R2年7月）



軌道内夜間現地調査
（軌道内の起伏・傾斜等の測量
を実施 R2年10月）葛飾区



水防活動円滑化へ向けて
の調整箇所

京成本線荒川橋梁架替事業の広報

資料-6

事業説明看板の設置(用地買収完了箇所)



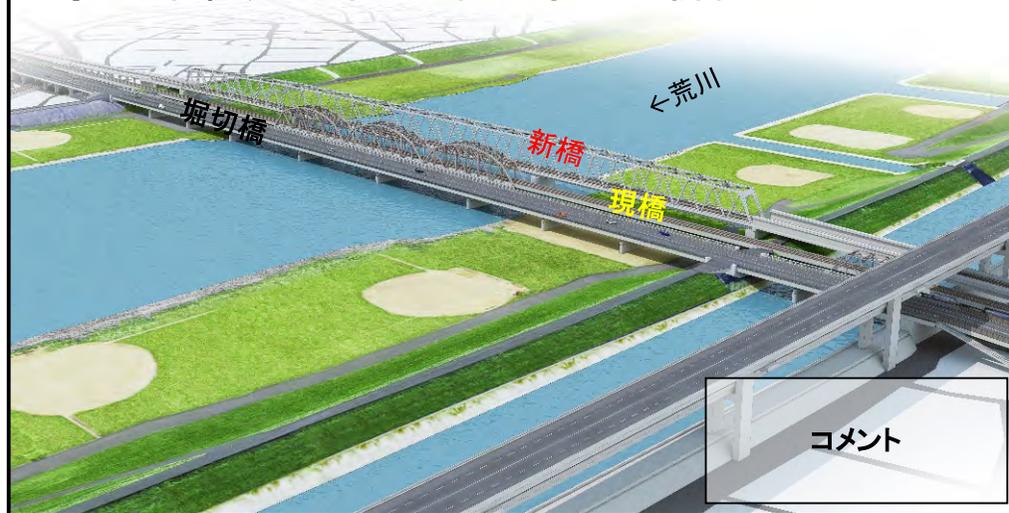
【足立区内】事業説明看板(案)

京成本線荒川橋梁架替事業 新橋のイメージ



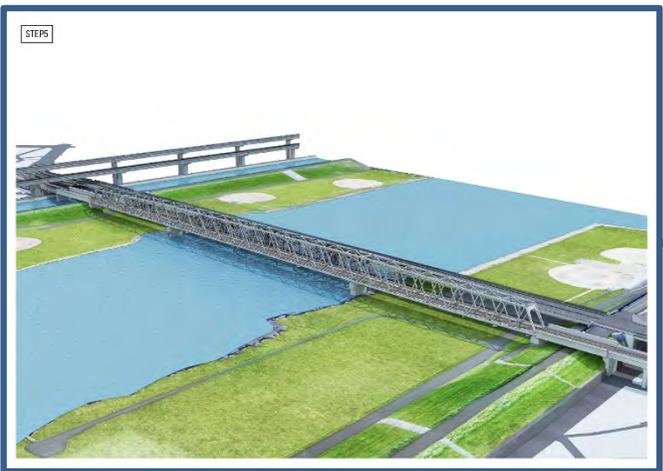
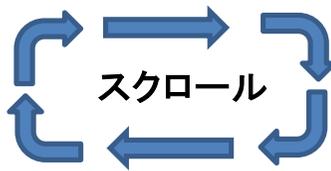
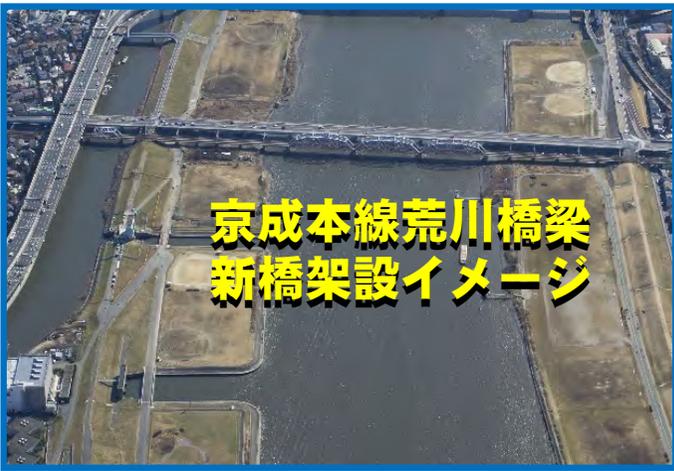
【葛飾区内】事業説明看板(案)

京成本線荒川橋梁架替事業 新橋のイメージ



京成本線荒川橋梁架替事業の広報

橋梁架設イメージ動画のホームページ掲載



京成本線荒川橋梁架替事業



位置図



京成本線荒川橋梁

荒川

足立区

葛飾区

堀切橋

堀切JCT

首都高速6号向島線



きょうりょう 京成本線荒川橋梁の概要

京成本線荒川橋梁は、京成電気軌道(現在の京成電鉄)の青砥～日暮里間の開業に伴い、昭和6年(1931年)3月に完成し、同年12月19日に供用を開始しました。以来、みなさまの重要な交通機関として活躍しつづけ、現在では1日に約14万人の方々が利用しています。



京成本線荒川橋梁全景



堀切菖蒲園駅前

広域的な地盤沈下

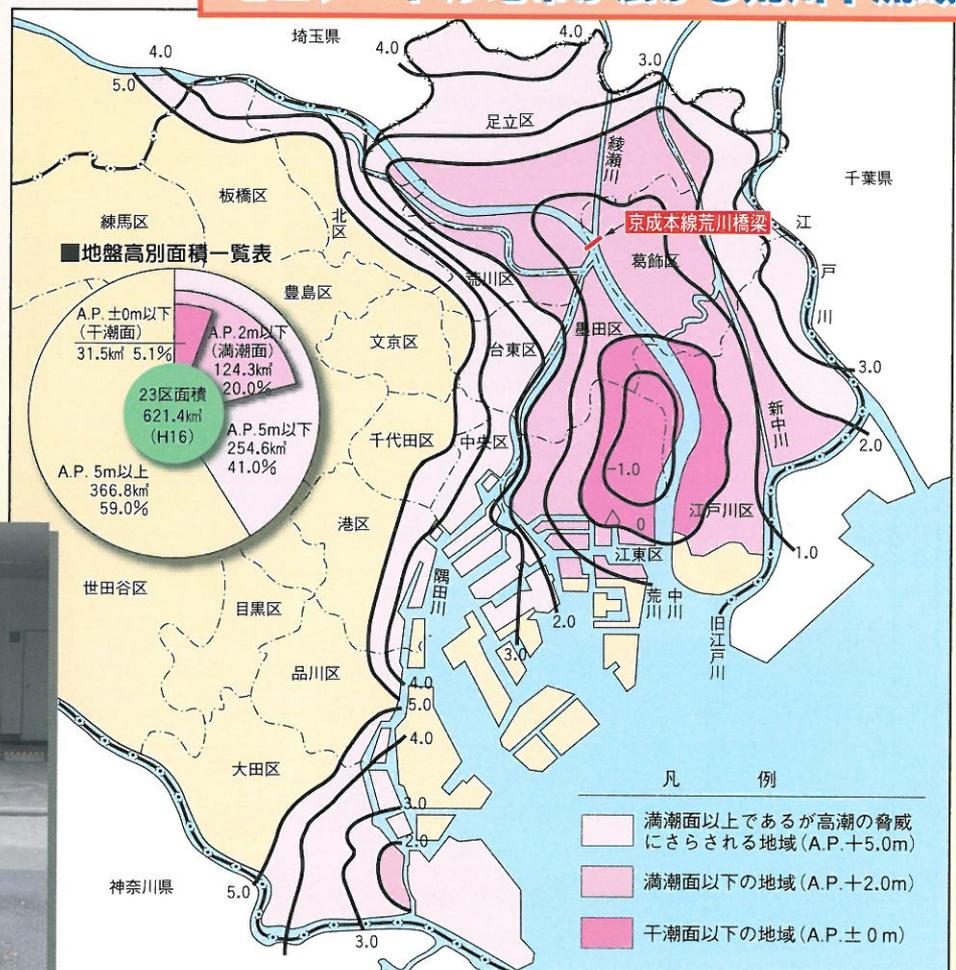
高度経済成長期の地下水の過剰汲み上げにより江戸川区や江東区を中心に広域的に地盤沈下が生じ、最大で約4.5mの沈下が確認されている所もあります。

現在では、沈下はほとんど収まっていますが、京成本線荒川橋梁の付近も約3.4mの地盤沈下が確認されています。

●手を伸ばしている高さがかつて地面だったところです



ゼロメートル地帯が広がる荒川下流域

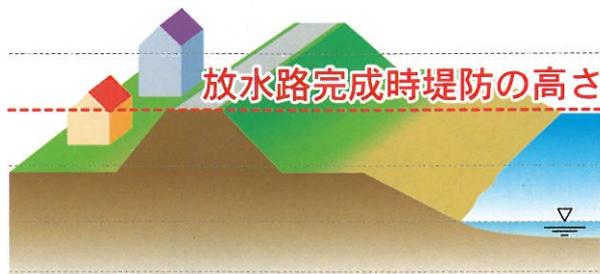


(提供：東京都建設局河川部資料を加筆修正)

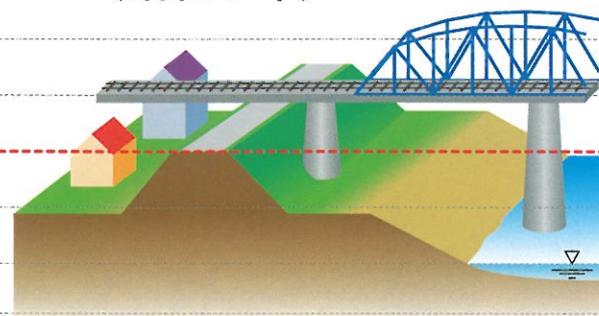
治水上の弱点

広域地盤沈下によって低くなってしまった堤防は、必要な高さまでかさ上げされました。しかし、橋梁部は橋梁が支障となり、かさ上げができないため、この付近の堤防は付近の堤防に比べて低い状態にあります。増水時には、堤防の低い部分から水が溢れて堤防が決壊する危険性が生じるなど、治水対策上の大きな問題となっています。

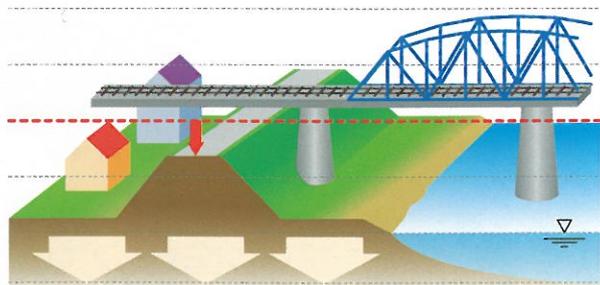
1 荒川放水路完成 (昭和5年)



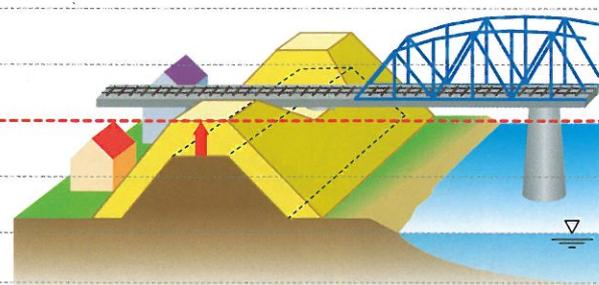
2 京成本線 荒川橋梁完成 (昭和6年)



3 地盤沈下(高度経済成長期) (地下水採取の規制が強化される)



4 堤防のかさ上げ実施 (但し、橋梁部分のかさ上げできない)



■ 洪水時、橋桁のすぐ下まで水位が上昇



京成本線荒川橋梁

■ 増水して橋桁に衝突した運搬船

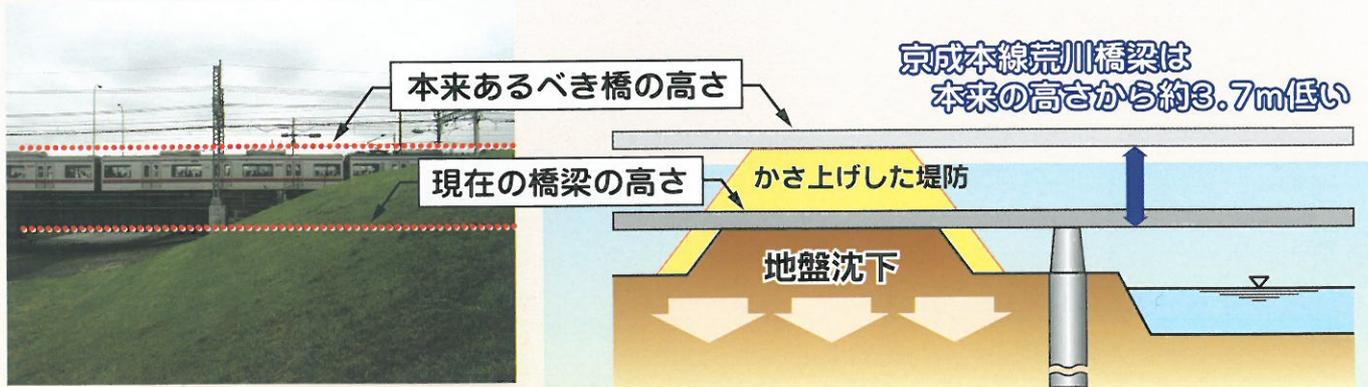


京成押上線 旧橋

橋梁架替の必要性

治水対策を行うためには、橋梁部の堤防を必要な高さまでかさ上げする必要があります。そして、堤防かさ上げを行うためには支障となっている橋梁を堤防よりも高い位置へ架け替える必要があります。

平成14年には京成押上線荒川橋梁おしあげの架替事業が終了し、京成本線荒川橋梁の架替に向けた調査を進めています。



かさ上げされた堤防の間を通る京成本線荒川橋梁

■ 桁下高が周辺の堤防高より低い京成本線荒川橋梁

新橋梁の完成により、十分な高さが確保できました。

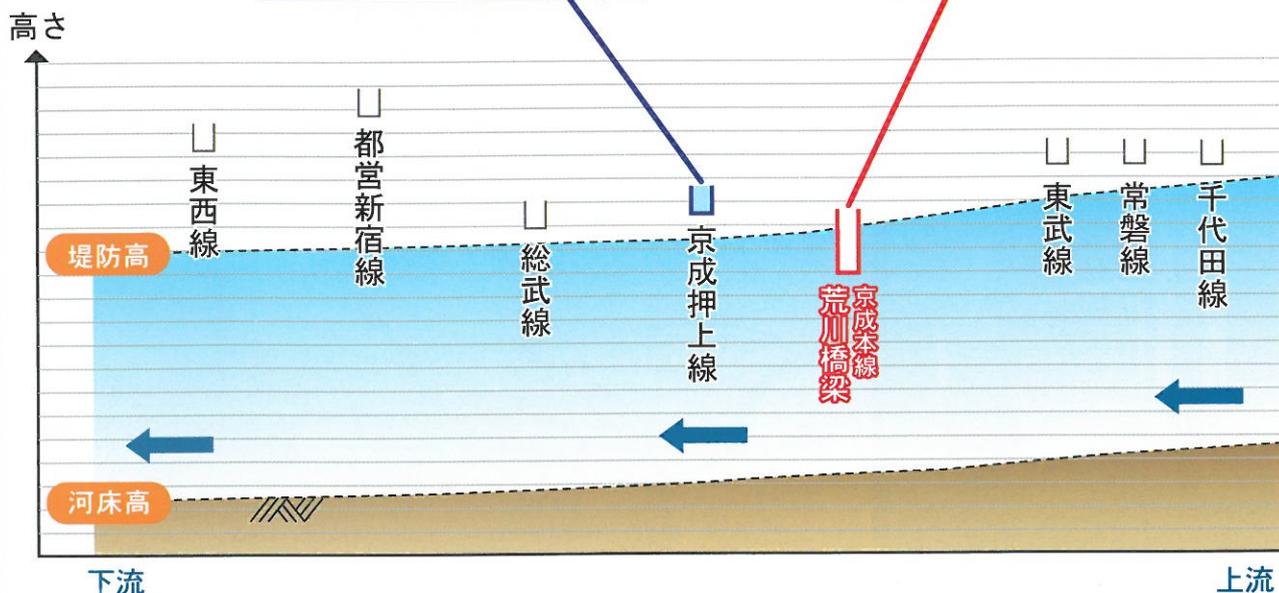


京成押上線荒川橋梁(架替後)

堤防より低いため、治水対策上の問題となっています。



京成本線荒川橋梁(現在)



今後の取り組み

この架替ルートは、交差する首都高速道路橋梁（首都高速中央環状線）や平行して隣接する道路橋梁（堀切橋）などの現地状況を踏まえ作成したルートです。

今後、国土交通省・京成電鉄株式会社・地元自治体（足立区、葛飾区）と連携し、事業に対して地域の方々のご理解とご協力をしていただきながら、進めていきたいと考えています。

荒川右岸側の現況

- ・ 平行する堀切橋よりも低い位置にある京成本線荒川橋梁



- ・ 東武伊勢崎線との立体交差



- ・ 京成関屋駅付近



荒川左岸側の現況

- ・ 首都高速中央環状線の下を通る京成本線荒川橋梁



- ・ 土盛された線路を走る京成本線



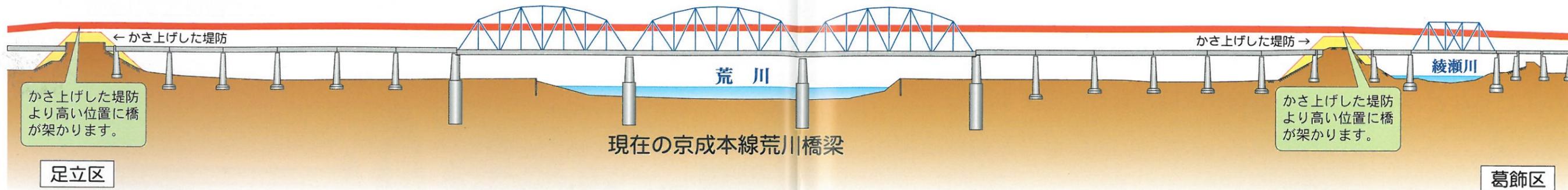
- ・ 堀切菖蒲園駅付近



架替後の京成本線荒川橋梁(イメージ)

架替後の京成本線荒川橋梁

首都高速
中央環状線



至北千住

至上野

郵便局前

京成関屋駅

牛田駅

柳原千草園

足立区

荒川小菅緑地公園

綾瀬水門

荒川日ノ出町緑地

架替ルート

京成本線荒川橋梁

堀切橋西詰

堀切橋

堀切橋

綾瀬川

荒川

堀切駅

隅田水門

首都高速6号向島線

堀切JCT

葛飾区

堀切5

昌栄通り

京成本線

堀切菖蒲園駅前

堀切菖蒲園駅

至青砥

平和橋通り

妙源寺前

千住曙町

千住汐入大橋

墨堤通り

隅田川

荒川区

都立汐入公園

墨田区

東武伊勢崎線

至押上

堤通2

首都高速中央環状線

堀切菖蒲園

お問い合わせ



国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課

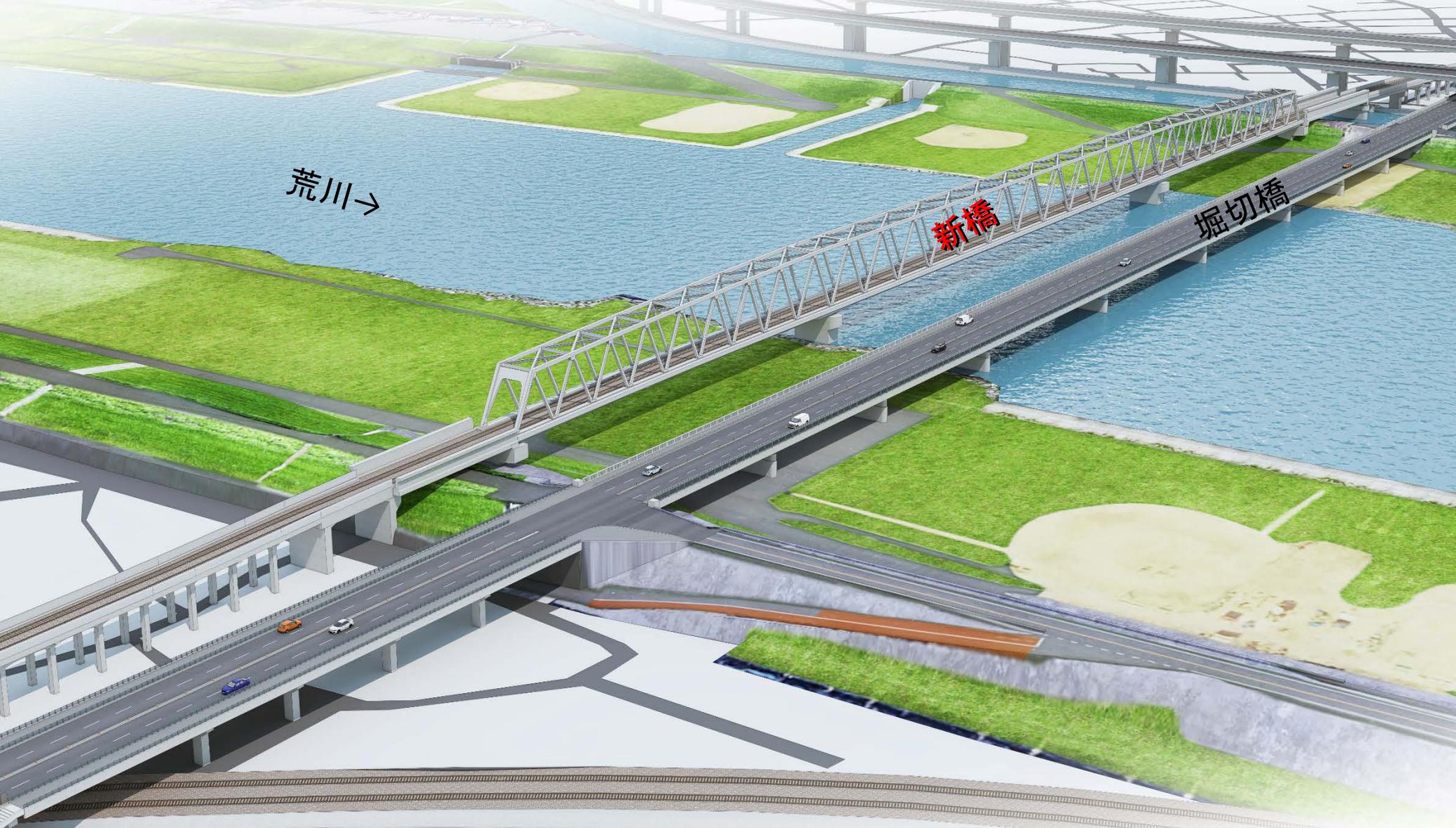
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1

TEL 03-3902-2311 (代表)

ホームページアドレス <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

京成本線荒川橋梁架替事業 新橋設置時のイメージ

参考資料-2



荒川→

新橋

堀切橋

荒川→

新橋

現橋

堀切橋



京成本線荒川橋梁架替事業に係る事業調整協議会(第1回)

議事概要

日時：令和2年11月17日(火)15:45～16:15

場所：荒川下流河川事務所 アモアホール

1. 挨拶

① 国土交通省 関東地方整備局 河川部長

区長の皆様には、直接国土交通大臣に要望をいただくなど、架替工事の早期着手、完成について、多くの要望をいただいています。本事業に係る情報や課題について共有し、連携を取ることで課題解決に努め、早期の架替工事着手、事業の推進を目指していきたい。また、円滑に事業を進めていくため、広報活動もしっかりやっていきたいのでよろしくお願いします。

② 葛飾区長

架替事業は地元にとって本当に長い間の懸案でした。東日本台風で荒川も被害の可能性があり多くの皆様にご心配いただきました。破堤、越水する可能性があるので防災訓練、土のうや水のうを積む訓練を実施しました。このことを知っていただき、是非、皆で力を合わせて架替事業がスピーディーに進むように取り組んで参りたいと思います。

2. 資料説明(荒川下流河川事務所)

① 京成本線荒川橋梁架替事業の進捗状況について

- ・用地契約の進捗率は本年4月で3%、11月で約10%。
- ・令和4年度には橋梁架替工事に着手する予定。

② 京成本線荒川橋梁の堤防切り欠き部の対策について

- ・足立区長、葛飾区長連盟で京成本線の水防活動の時間短縮のため、堤防切り欠き部にパラペット等を設置するようご要望をいただいている。
- ・治水効果の早期発現を目的に、鉄道が新線に切り替わった段階で、パラペットを施工し必要な高さを確保する。最終的には旧施設を撤去して堤防を完成させる。
- ・令和3年度に、堤防切り欠き部のパラペットの施工を行う。

③ 事業の広報活動について

- ・用地買収完了箇所に事業説明看板を設置したい。
- ・橋梁架設イメージ動画をホームページで公開する予定。

3. 意見交換

① 足立区長

- ・事業説明看板の設置については、地元の方の意向を十分に把握して進めていただきたい。

② 葛飾区長

- ・堤防切り欠き部のパラペットは令和3年度の台風シーズン前には完成してほしい。

③ 荒川下流河川事務所

- ・事業説明看板の設置に当たっては事前に地元の皆様と十分調整します。
- ・パラペットについては現在設計中ですので、完成時期は今後お知らせします。